

九州ネット



九州体育・保健体育ネットワーク研究会

鹿児島開催（鹿児島黒豚ラウンド） 令和4年7月16日（土）Web開催

新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらず、本県においても爆発的感染拡大警報が発令されたことを受けて、黒豚ラウンドをWeb形式で開催しました。今年度は全国的に梅雨明けが早く、鹿児島も連日暑い日が続いておりますが、暑さに負けず、今回も充実した研究会となりました。

1 実践発表：「共に運動とのかかわりを深める体育科授業の創造」

（鹿児島大学教育学部附属小学校）

今回は、鹿児島大学教育学部附属小学校の橋元将大先生に、ゲーム状況におけるよりよい思考・判断（主に第4学年「パスで突破するフロアーフット」の実践をもとに、認知・判断・決定し、よりよいパフォーマンスにつなげるための思考方法）について紹介していただきました。

実践発表後のグループ協議や質疑応答においても、認知と技能との関係性やドリルゲームの在り方、また、技能差を補うコートの広さなど、多くの意見が出されました。

さらに、今回は日本女子体育大学高橋先生からも、「思考力、判断力、表現力等」の育成について、知識や学びに向かう力、人間性との関連や指導と評価の計画等をもとに紹介していただきました。



2 グループワーク：「思考力、判断力、表現力等を育成するための実践について」

最初に、桐蔭横浜大学佐藤先生から体育学習の「わかる」と「できる」や学習内容の関連構造等についての紹介、また、グループワークの進め方についての説明をしていただきました。

次に、グループごとにワークシート（学年・領域）を作成しました。ワークシートの内容は次のとおりです。

- ① 取り上げる思考・判断・表現の例示
- ② 単元設定のイメージ
- ③ 具体知（コツ、言葉かけ）
- ④ 方法知（いつ、どのように）

最後に、各グループのワークシートの内容を共有することで、新たな気づきやヒントを得ることができ、貴重な時間となりました。



3 おわりに

今回の鹿児島黒豚ラウンドでは、計21人が県内外から一堂に会して、主に体育・保健体育の思考力、判断力、表現力等について学ぶことができました。今回も、御多用にも関わらず、御指導くださいました佐藤先生、準備等でお世話になりました梶先生をはじめ、遠方からwebで参加してくださった先生方、参加してくださったすべての先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

（報告者：鹿児島県教育庁保健体育課 中野）